

日本建築積算協会(中野由一会長)は、新資格制度「建築コスト管理士認定事業」の認定試験の受験申し込みを9月3日まで受け付ける。1次試験(学科・論文)は10月16日に鹿児島市など全国13都市で実施する。1次合格者を対象とする2次試験(面接)は12月11日ごろに行う。合格発表は18年3月初旬を予定している。

新資格「建築コスト管理士」試験

鹿児島市
など実施
来月3日まで受け付け

受験資格は、①建築積算資格者の更新登録を1回以上行い、建築関連業務の経験が10年以上(うち建築コスト関連で責任ある業務が2年以上)②建築関連業務の経験15年以上で、建築コスト業務の経験10年以上(うち責任ある業務4年以上)③「建築コスト管理士」の称号を得た者。登録には個人正会員となる必要があり、経過措置として、建築積算資格者の更新登録が4回以上で、実務経験が20年以上(うち責任ある業務4年以上)あることに加え、同協会の会員歴が5年以上の者については、経過措置講習と面接により資格を認定。また同協会のB・S・I・コストスクールで「プロジェクトマネジャー」の称号を得た者は筆記試験を免除する。

学校施設等のアスベスト使用調査 県、全市町村に通知

県は、29日付で文部科学省から学校施設等におけるアスベスト使用状況等の調査依頼を受けたこと、県内全市町村の教育委員会に通知した。各市町村は、使用実態調査要領に基づき調査表を作成後、県で取りまとめを行い11月15日までに文部科学省に提出する見込み。

エコアクション21実践セミナー 20日に鹿児島市で

NPO法人環境技術協会(田邊裕正理事長、熊本市)及び地球環境戦略研究機関持続性センター主催の「エコアクション21実践セミナー」は、環境マネジメント構築に取り組み県内の中小企業を対象に実施するもので「エコアクション21システムと

問う筆記と建築コストに関する論述で実施。これを合格した者に面接を行

日本建築積算協会

い、資格を認定する仕組み。資格は5年の更新制度で、継続能力開発(CPD)が更新の要件となる。建築コスト管理士は、同協会が運用する数量積算の専門資格「建築積算資格者」をベースに、建築生産過程の川上(企画・構想)から川下(維持・保全)にわたる領域で、各段階ごとにコスト

本県は3団体受賞

国土交通省は、道路ふれあい月間(8月1日〜31日)のイベントの一環として、清掃や除草、花壇の整備など、長年にわたって道路の維持管理に功績のあった67団体、個人18人を表彰する。本県から道路美化で東水成川集落、鹿児島信用金庫浦生支店、仁田尾公民館が受賞した。

P点は上げられる

P点は結果として出てくるもの。そしてその結果に基いてランクが決定される。ただそれだけのことで、そう思われるでしょうか。

言うまでもなく、完成工事高は減少傾向であり、工事は少しでも受注したいと考えるの

P点は結果として出てくるもの。そしてその結果に基いてランクが決定される。ただそれだけのことで、そう思われるでしょうか。

ではP点を上げる方法なんてあるのでしょうか。

P点の構成は表に示す通りです。

※経営状況(Y)の個人の最高点は1130点。各審査項目は平成6年の改正時に平均点が700点となるように制度設計されている。

フクモトマネジメントラボ(株)

代表取締役 福元 克明

ではP点を上げる方法なんてあるのでしょうか。

P点の構成は表に示す通りです。

※経営状況(Y)の個人の最高点は1130点。各審査項目は平成6年の改正時に平均点が700点となるように制度設計されている。

P点アップは5審査項目次第?

P点の構成

審査項目	最高点	最低点	ウエイト
工種別年間平均完成工事高(X1)	2,565	569	0.35
自己資本額および建設従事職員数(X2)	954	118	0.10
経営状況(Y)	1,430	0	0.20
技術力(Z)	2,402	590	0.20
その他の審査項目(W)	967	0	0.15

	計算式	得点
X1	700 × 35% =	245
X2	700 × 10% =	70
Y	700 × 20% =	140
Z	700 × 20% =	140
W	700 × 15% =	105

となり、この時P点は700点になります。

この5項目のいずれかの点数が下がればP点は下がりますし、いずれかが上がればP点も上がります。つまり五つの審査項目のいずれかを上げることで、P点を上げることができるとなります。では何を上げればよいのか?

未来の地図

全9回-②

イマベップの家 6、7日に完成見学会

今別府産業(株)(今別府英樹社長)は6、7日の2日間、イマベップの家の完成見学会を開催。見学会は太陽光発電標準搭載で光熱費ゼロ挑戦の家としてCO₂削減で地球温暖化から地球環境を守ろうとするもの。また、同社展示場ハートニススクエアでもイマベップの家発表会、太陽光発電・オール電化のわくわく体験会を同時開催する。

10日から募集開始 新種子島空港のシンボルマーク等

種子島空港利用促進協議会は、18年3月開港予定の新種子島空港(愛称・コスモポート種子島)のシンボルマーク及びキヤッチコピーを募集する。募集期間は10日から9月20日まで。応募資格は自由。

申し込み・問い合わせは、同協議会事務局(☎0997・27・1111、内線259)まで。

平成17年度版 公共事業予算総覧

この一冊で、今年の県内工事計画がわかる

■お問い合わせお申し込みは 株式会社 鹿児島建設新聞

鹿児島市錦江町3番36号

☎099-227-5100 FAX 225-6911

●定価 8,000円 (消費税別)